

秋桜祭

秋桜祭実行委員
普通科2年 藤原 基貴 (西大寺中出身)



9月8日～10日、第13回秋桜祭が開催されました。

今年のテーマは「**Love For Saiko**～今、自分にできること～」でした。

3月11日に起きた東日本大震災で被災した東北地方へ西大寺高校の愛とパワーが届くようにと願って生徒会執行部が決定しました。また今年は女子サッカーのなでしこ**JAPAN**や男子サッカーのザック**JAPAN**の活躍が目立ち、全校制作のモザイク画では男子日本代表の内田篤人選手のモザイクアートが校舎に飾られました。

初日は3年生・クッキング部・PIAによる模擬店や有志のステージ発表や屋内外での展示発表などが行われました。今年は3年生に負けまいと1・2年生も気合いの入ったステージ発表をみせてくれました。バンド・ダンス・漫才などみんなが素敵な笑顔で過ごした一日でした。

2日目は文化部を中心として行われるステージ発表でした。吹奏楽部の発表ではサプライズとして先生方の美声を聞くことができました。その他にもダンスや箏曲、演劇など賑やかな一日でした。

最終日は体育祭です。天候にも恵まれ、各ブロックがしのぎを削って1位を目指して頑張っていました。その結果、ある伝説が生まれました。なんとどのブロックも賞状をもらうことができたのです。体育祭始まって以来のことで各ブロック、一生懸命頑張ったものが実を結んでよかったなと思いました。閉会式での全校生徒が学年・クラス・男女を超えて肩を組み、大声で校歌を歌った時には、こみ上げるものがありました。なかにはこらえきれず涙する生徒もみられ、よい体育祭になったなと思いました。

秋桜祭3日間を通してテーマにもあるようにみんな今、自分にできることを精一杯頑張っていました。そして来年も盛り上がる秋桜祭になるよう生徒会も頑張ります。



秋桜祭実行委員
国際情報科2年 澁谷 素乃子 (竜操中出身)

この秋桜祭を通して、思ったことが3点ある。

1つ目は西大寺高校の部活動が多いこと。展示発表では美術部、囲碁将棋部、華道部、JRC部、歴史研究部、新聞部、英語部、漫画研究部、書道部、写真部、天文部、と11部活動。模擬店ではクッキング部、茶道部の2部活動。ステージ発表では箏曲部、放送文化部、演劇文化部、吹奏楽部、ダンス部、と5部活動。合計18の部活動が発表した。西大寺高校は運動部だけでなく文化部も盛んである。

2つ目は生徒の手によって成ること。たとえばステージ発表するにしても照明や垂れ幕など主に生徒の手で行われる。当たり前だがそういったウラの仕事があったからこそ初めてステージ発表が行え、ステージ上の人が輝ける。

3つ目は奇跡が起きること。今年の秋桜祭は文化の部、体育の部を通じて全体のブロックに賞状が与えられた。今までこのようなことはなく、西大寺高校の新たな伝説が生まれたのである。あつという間に終わった3日間だったが、得られたものがたくさんあると思う。来年もまた新たな伝説が作れるような秋桜祭にしていきたい。

留学生との交流会

国際情報科 2年 小林 尚登 (芳田中出身)

私が留学生との交流会に参加して思ったことは、交流会は普段できない国際情報科ならではの外国の方と英語で会話ができる貴重な触れ合い行事だということです。

交流会の最初に、留学生のプレゼンテーションがあります。これは色々な国の出身である留学生の母国紹介です。色々な国とは、インド・アメリカ・ベトナム・韓国・マレーシアなどで、国紹介を写真で詳しく説明していただけます。国の位置や人口、食べ物の紹介があり、国によって比較もできます。そして、グループに分かれて、グループごとで用意した、お菓子・ジュースを食べたり飲んだりしながら留学生と直接、英語で会話する時間があります。この時間は留学生と距離を縮め、お互いを知ることができ、とても楽しい時間です。英語で会話するのは難しいですが、日頃の英語力を最大限に活用し、辞書を活用しながら会話をします。伝えたいことが相手に伝わった時、とても嬉しいものです。

また、「何か留学生に見てもらいたい物はないか?」と皆で考えた結果、「うらじゃ」を披露しようとなりました。毎日放課後の少ない時間を使い練習して、留学生の前で踊りました。最後に留学生にも参加してもらって「うらじゃ音頭」を踊り、留学生との仲をより一層深めることができました。

お昼、一緒に食事をし、記念にと写真撮影も行われました。仲が非常によくなった留学生と生徒の間には、メールアドレスを交換している人も多数いました。

このような留学生との交流会で、たくさんのお話を学ぶことができ、よい経験となりました。またこのような機会があれば積極的に参加したいと思います。



国際情報科 2年 藤井 悠 (京山中出身)

この交流会は、私にとってとてもよい経験になりました。この交流会では、たくさんの国からの留学生の方々が、映像を使ったり、音楽を使ったりして私たちにもよくわかるようにそれぞれの母国の紹介してくれました。普段ではあまり詳しく知ることのできない国についても学べるよい機会だったので、楽しみながら、真剣に留学生の説明を聞きました。

その後、グループトークをしました。グループトークは、1班に1人ずつ留学生がついていて、その留学生の母国について様々な質問をしたり、また日本についての質問をされたりしました。韓国人の留学生はとてもハンサム、いや、今で言うイケメンだったので、私のテンションはものすごく上がりました。もう1人の韓国人留学生もまたとても美人だったので私のテンションはものすごく上がりました。わずかな時間でしたが、その中で言葉も文化も違う人たちと仲良くなることができました。会話能力は必要ですが、自分のことを相手に「伝えたいという思い」がそれ以上に大切で必要不可欠であるものなのだと思います。最後に恒例のうらじゃ音頭を踊りました。みんなで輪になって踊るのはとても楽しかったです。

今回の交流会を振り返ってもっと外国の文化に触れてみたいと思いました。また私自身の英語力をさらに深いものにしなければならぬと思いました。この思いを忘れず、一日一日を過ごしていきたいです。